

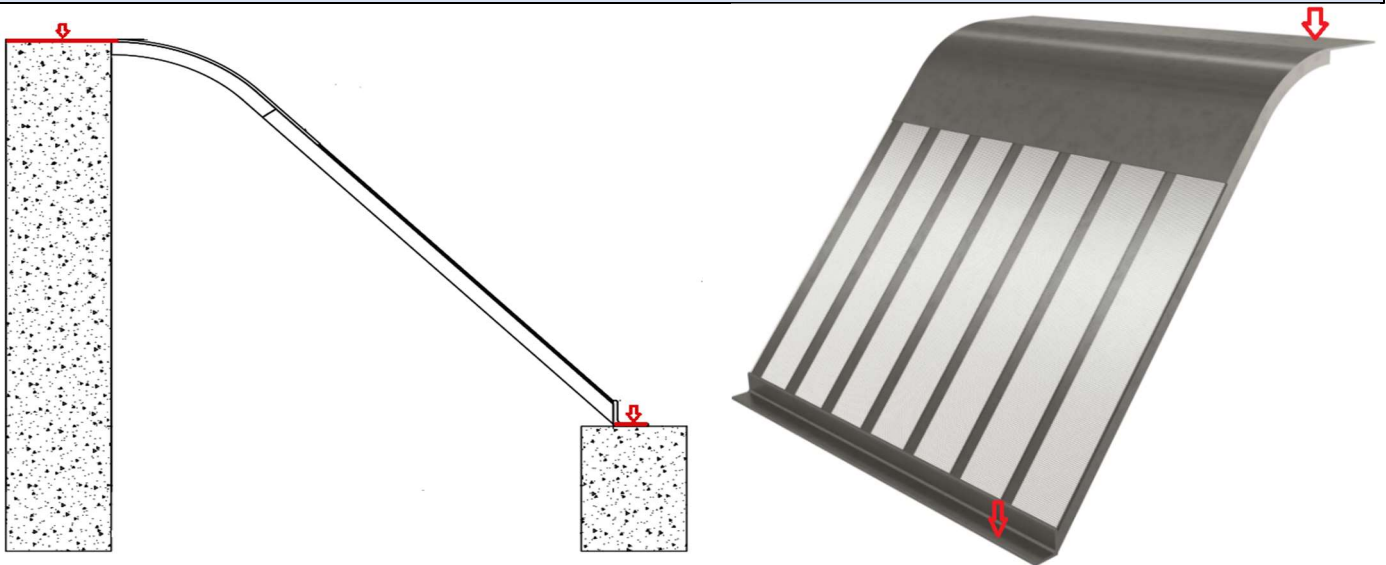
コアンダスクリーン設置方法

初めに:

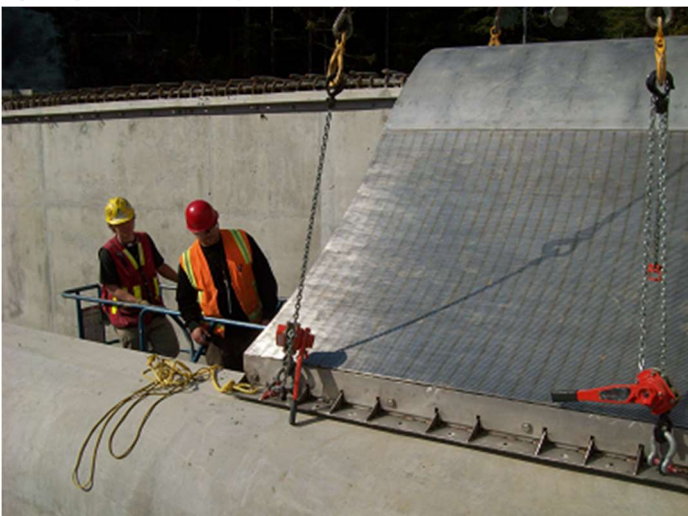
マイクロ水力取水方式に、“コアンダスクリーン”を利用し、ゴミのない清水を自然に取り込み、ヘッドタンクに送り込む方法があります。比較的流れの緩やかな、平坦な場所でのご利用に適しています。電動除塵機の不使用を目的としています。全体的説明は別紙カタログをご覧ください。本説明は現場での設置方法に関する案内を行い、未経験の方でも安心してご使用頂ける情報をお伝えします。コアンダスクリーンは 2003 年頃、業界でその計算方法が確立し、多くの種類が生まれてきましたが、現在では以下の種類が経済性、最大効果、設置の容易性で多く使われています。

取水口に設置するタイプ

下記イラストの様に、赤色矢印上部下部 2 か所でウエッジアンカーボルトで固定します。



設置工事例



コンクリート固定用ウエッジアンカーボルト



土木工事で一般的に使われている ウエッジアンカーボルトでスクリーン上下場所で固定します。設置場所の個々の条件で例えば、9.5mm直径、長さ 76mm等 プロジェクトごとにお知らせします。

ウエッジアンカーは(1)通常上下固定をお勧めしますが(2)流量が少ない場合、下側のみで済ませる場合があります。(3)ごく少流量を目的とする場合、上側アプローチプレートを折り曲げて、コンクリートに被せ、設置する場合があります。(下に写真で示します)

場所、取水量、現場諸条件で臨機応変に対処するのが通常です。引き合い時には現場での条件をお知らせください。

